

(株) ベースボールマネージメントインターナショナル  
コンサルティング・マネージメント選手契約 実績&成果



アレッサンドロ・マエストリ選手 2012 年

イタリア代表選手として 2006、2009 年の WBC にてプレー。シカゴ・カブスでは 2A にてプレーした。その後アメリカプロ野球独立リーグ、オーストラリアのプロ野球を経験し、日本の四国アイランドリーグ Plus に所属する香川オリーブガイナーズにてプレーし、NPB（日本野球機構）のオリックス・バファローズと契約を果たした。独立リーグ経由で NPB にてプレーをした初のイタリア人選手となった。



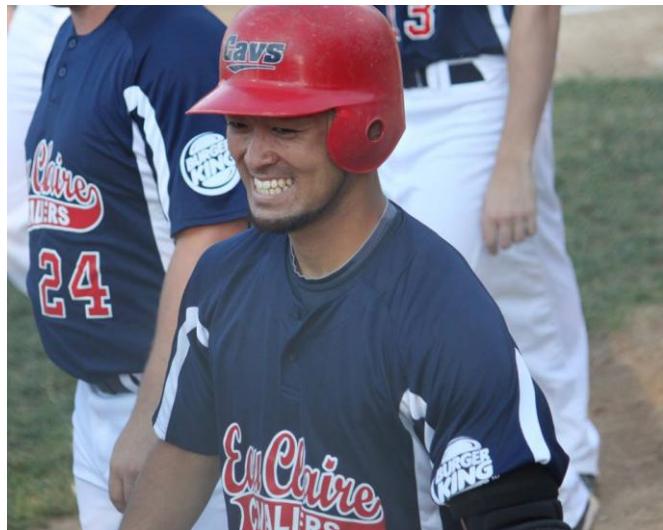
井野口祐介選手 2012~2013 年

日本プロ野球独立リーグの一つであるベースボールチャレンジリーグ 2009 年度シーズン MVP。2007~2009 年で 3 年連続同リーグベストナインに選出される。2007、2008 年度は打点王のタイトルも獲得し、群馬ダイヤモンドペガサスからアメリカプロ野球への移籍を果たす。アメリカ初年度はチームの監督から MVP に選出されるなど、2 シーズンプレーし、41 二塁打を記録するなど中距離打者としてチームの勝利に貢献した。



田久保賢植選手 2007～2014年

2013年はアメリカプロ野球独立リーグの一つであるペコスリーグにて複数ポジションをこなした。2012年は日本人としては初となるプロ契約を結び、チェコ共和国1部リーグであるエクストラリーグに属するフロッシ・ブルノにてプレー。2010年 関西独立リーグ コリア・ヘチ / 2011年 関西独立リーグ 大阪ホークスドリーム、2008年 カナダインターナショナルリーグ ストラットフォードナショナルズ、2007年 四国アイランドリーグ 徳島インディゴソックスにてプレーをした。



安田裕希選手 2012~2014 年

横浜桜ヶ丘高校卒業後に法政大学に進学。大学では準硬式野球部にてプレーをする。もう一度本気の勝負をしたいと決意し、渡米。カリフォルニアで行われていたウィンターリーグ（スカウティングリーグ）にてアメリカプロ野球独立リーグの一つであるペコスリーグに所属するラスクルーセス・ヴァッケロス（※2012 年時）とプロ契約を果たし、シーズンを通してプレーした。2013 年はアメリカプロ野球独立リーグの一つであるフロンティアリーグに所属するロックフォード・アビエターズとプロ契約するも、ビザ取得ができずにアメリカサマーリーグにてプレーする。（リーグ 4 位の打率.414 を記録し、ベストナインの 3 壘手に選出される）2014 年はペコスリーグに所属するダグラス・ディアブロスとプロ契約を交わし、プレーをする予定となっている。



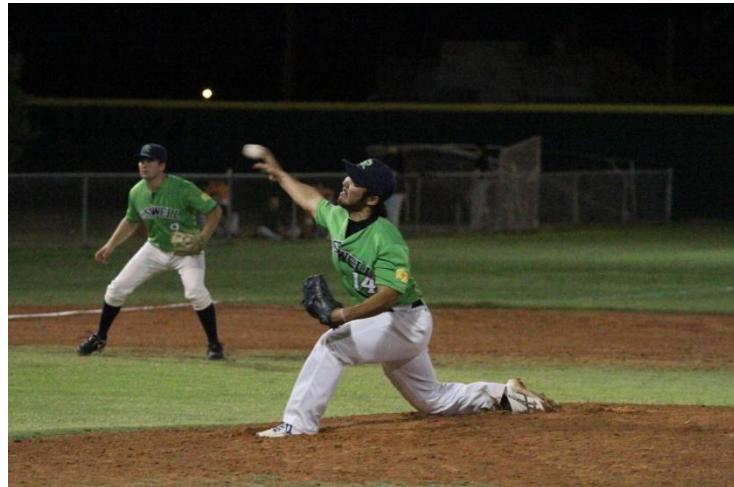
千田寛選手 2012年～2014年

関西独立リーグではソウル・ヘチ、紀州レンジャーズ、大和侍レッズにてプレーをした。2012、2013年はアメリカ  
ウィスコンシン州でサマーリーグに挑戦し、オクレア・キャバリアーズにてプレーした。シーズン打率3割をマーク  
した。その後オーストラリアのブリスベングレーターリーグに所属するランコーンインディアンズに移籍し、シーズ  
ンを通してプレーをした。2014年はアメリカプロ野球独立リーグの一つであるペコスリーグに所属するビズビー・  
ブルーとプロ契約を交わし、プレーする予定となっている。



春山凌選手 2014 年～

慶應義塾高校では第 39 回明治神宮野球大会優勝（秋の日本一）メンバーとしてチームの全国制覇に貢献した。また、秋季大会通算打率 0.459 を記録している。その後慶應義塾大学に進学し、早慶戦のメンバーに選出されるなど 4 年間プレーをした。2014 年はカリフォルニアで行われていたウィンターリーグ（スカウティングリーグ）にてアメリカプロ野球独立リーグの一つであるフリーダムプロリーグに所属するグットイヤー・センテニアルズと契約を交わした。



町田義憲選手 2008~2012年

高校時代は野球部に属することもなく、卒業後に専門学校にてプレーを再開する。専門学校卒業後にアメリカへの挑戦を決意し、サマーリーグで3シーズン、2011年にはアメリカプロ野球独立リーグの一つであるペコスリーグに所属するロズウェル・インベーダーズにてプロ契約を果たし、中継ぎとしてチームの優勝に貢献した。



西川徹哉選手 2010 年

日本プロ野球独立リーグの一つである四国アイランドリーグなどでプレーした後、更なるステップアップを目指して渡豪。メジャーリーグ機構が支援するオーストラリアのプロ野球リーグである ABL（オーストラリアンベースボールリーグ）にてプレーをする。所属したメルボルンエースでは先発としてチームの勝利に貢献した。その後アメリカプロ野球独立リーグの一つであるキャナムリーグのチームからオファーを受けるも就労ビザを取得できず、日本でプレーをした。



青木走野選手 2008年～2009年

アメリカのウィスコンシントリーグに所属するオクレア・キャバリアーズにてサマーリーグ挑戦を果たし、2年間プレーしチームではその俊足を評価されリードオフを務める。帰国後に四国アイランドリーグ Plus に属する高知ファイティングドッグスと契約を果たし、プレーをした。



森田雅久選手 2011 年～2014 年

横浜桐蔭大学時代は公式戦にて一度も登板機会を得られずに大学野球を終える。しかしながら選手としての自分の可能性と今後のコーチングの勉強を兼ねてアメリカ野球に挑戦。ウィスコンシンステートリーグに所属するオクレア・キャバリアーズにてサマーリーグ挑戦を果たす。現在は指導者になるために日々コーチングを学んでいる。